※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　「精選　古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	古文単語　覚えるぞ　３２１（尚文出版） プレミアムカラー　国語便覧　改訂版（数研出版）及び　準拠ワーク 古典の手引き（いいずな書店）及び　定着ノート 新演習　古典アチーブ２　三訂新版（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次から引き続き、日本と中国の古典文学作品をより深く読み解いていきます。２年の時に習った古典文法などを用いて、自分で古典文学に触れ、様々な時代の考え方、感じ方を学びます。予習・復習を軸に主体的に学ぶ姿勢を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

古文・漢文の読解を通して日本の伝統的な言語文化を理解し、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能と豊かな感性や思考・判断・表現の力を伸ばすとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的 確に捉えること。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期	説話 ［教材］叡実、路頭の病者を憐れむ事（発心集）	a：文語のきまりについて理解を深める。 b：「読」仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。 c：学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	作り物語 ［教材］夕顔の死（源氏物語）	a：我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 b：「読」長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 c：学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	随筆 ［教材］宮に初めて参りたるころ（枕草子）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b：「読」随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	歴史物語 ［教材］中納言争ひ（大鏡）	a：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b：「読」歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 c：内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	作り物語 ［教材］はいずみ（堤中納言物語）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b：「読」王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、短編として書かれた作品を読んで、古典への興味を広げる。 c： さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	故事 ［教材］推敲	a：訓読のきまりについて理解を深める。 b：「読」現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、日本語に与えた影響について理解を深める。 c： 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

	評論 ［教材］歌のよしあし（俊頼髄脳）	a：和歌の評価基準について述べた古典の文章を読み、和歌の修辞について理解を深める。 b：「読」歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：学習の見通しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	和歌・歌謡・俳諧 ［教材］古今和歌集	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b：「読」わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。 c：対象の捉え方や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
三学期	評論 ［教材］風姿花伝	a：文語のきまりについて理解を深める。 b：「読」年齢に応じた稽古のしかたを説いた能楽論から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。 c：学習課題に沿って、本文から得られる人の生き方一般に通じる教訓について考え、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	日記文学 ［教材］秘密の出産（とはずがたり）	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b：「読」日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	逸話 ［教材］不死之道（列子）	a：訓読のきまりについて理解を深める。 b：「読」「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれぞれの考えを読み取る。 c：積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考えを説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　６５～７５　）時間